

TOTO



浴室換気暖房乾燥機

TYK910G型／TYK920G型／TYK960G型／TYK970G型

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では製品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味	表 示	意 味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 一般的な禁止	 必ず行う
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	 分解禁止	 アースを接続せよ
		 回転物禁止	

		ファンやヒーターに触ったり、物を差し込まない 感電、けが、やけどのおそれがあります。
		内釜式ふろを設置した浴室では使用しない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。
		温泉水などを引き込んでくる浴室では使用しない 製品が腐食して、漏電や製品が故障するおそれがあります。
		絶対に分解したり、修理、改造は行わない 火災、感電、けがの原因になります。
		アース（D種接地）工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき感電する原因になります。
		電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および施工説明書に従って、電気工事士の資格を持った方が行う 不確実な接続をすると端子部が発熱し、火災のおそれがあります。
		電源コードはφ2mmの単線(VVFケーブル)を使用し、確実に接続し、より線は使用しない 接続が不十分だと火災のおそれがあります。
		漏電遮断器（分電盤にあればよい）を設置する 感電するおそれがあります。
		電源は専用回路とする 他の機器と併用した場合、電源コードが発熱し火災のおそれがあります。
		メタルラス張り、ワイヤラス張り、または、金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、 金属製ダクトとメタルラス・ワイヤラス・金属板とが電氣的に接触しないように取り付ける 漏電した場合、発火することがあります。
		指定する電源以外では使用しない 火災・感電の原因になります。
		【TYK910G/920G型：AC100V TYK960G/970G型：AC単相200V】

		本体仮止め機構は一時的な固定なので、仮止めのまま放置しない 本体落下による傷害のおそれがあります。
		ランドリーパイプは、推奨位置より本体に近づけて設置しない ランドリーパイプが過熱し、やけどのおそれがあります。
		機器の取り付けは、確実に行う 製品重量【TYK910G/920G型:11.0kg TYK960G/970G型:11.3kg】に耐えるよう施工方法に従って取り付ける 本体落下による傷害のおそれがあります。

2

お願い

● 消防法関連のお知らせ

浴室換気暖房乾燥機の取り付けに関しては、防災上の規制がありますので、不明な点は所轄の消防署などにあらかじめご相談ください。

(例) 東京消防庁設置基準

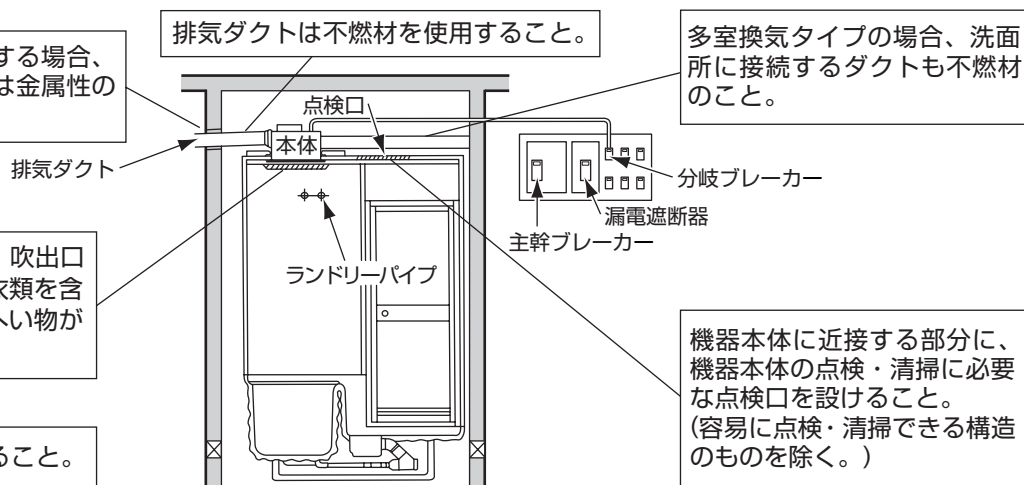
中間ダクトファンを接続する場合、
中間ダクトファンの外殻は金属性の
ものを使用すること。

排気ダクトは不燃材を使用すること。

多室換気タイプの場合、洗面
所に接続するダクトも不燃材
のこと。

温風の吸い込み、吹出口
の10cm以内に衣類を含め、
一切のしゃへい物が
ないこと。

・ 漏電遮断器を設けること。

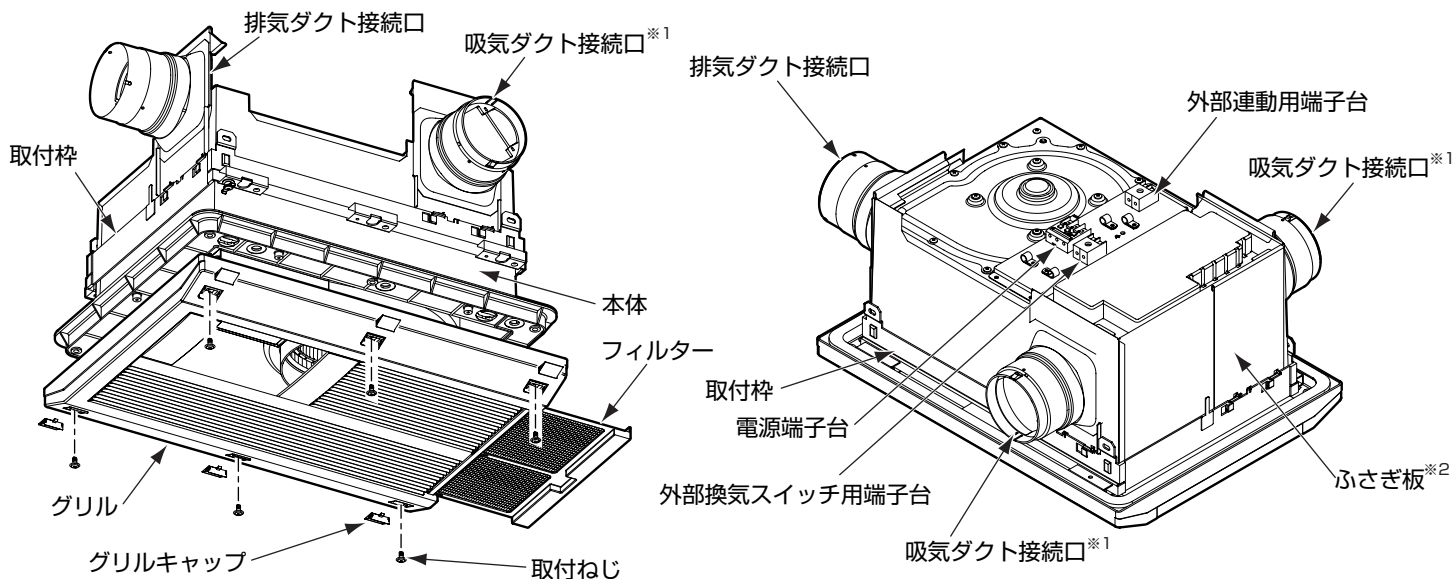


機器本体に近接する部分に、
機器本体の点検・清掃に必要
な点検口を設けること。
(容易に点検・清掃できる構造
のものを除く。)

3

各部の名称

図はTYK920G/970G型の場合



※1 TYK910G/TYK960G型の場合、吸気ダクト接続口は1個となります。

※2 TYK910G/TYK960G型の場合、ふさぎ板は2個となります。

4

現場手配品の確認

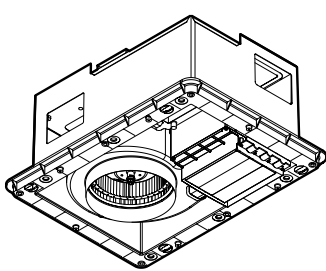
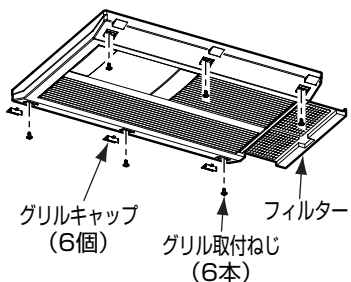
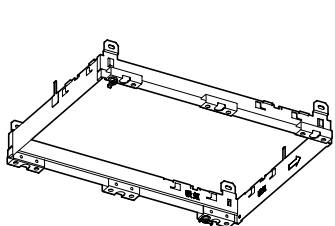
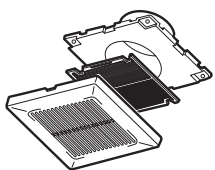
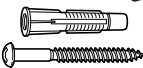
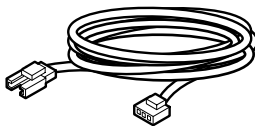
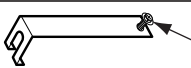
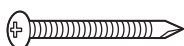
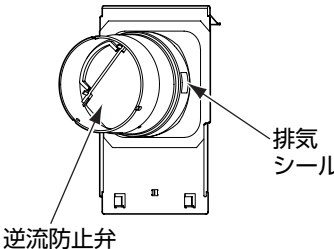
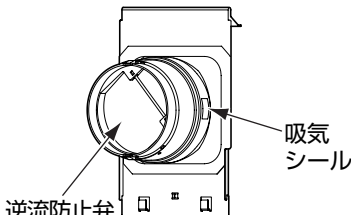
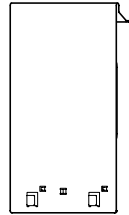
当社システムバスオプション部品として購入の場合は、
電源線およびアース線が1.5m付属されています。

下記部品は現場にて手配してください。

電源用電線	VVFケーブルφ2.0	適量	電気工事用	ベントキャップ		1個	排気用(外壁面取り付け)
アース線	銅線φ1.6以上	適量	アース工事用	吊りボルト	M10または3/8インチ	4本	製品を天吊りする場合。 ボルト・ナット各8個
アース棒		適量	アース工事用	取付補強材	TOTO品番 TYK590	1個	製品を直付けする場合
スイッチボックス	2連(標準リモコン) 3連(照明スイッチ枠付リモコン)	1個	リモコン用 リモコン取付用ねじも現場手配 (標準リモコン 4本 照明スイッチ枠付リモコン 6本)	外部換気スイッチ		1個	外部換気スイッチを設ける場合
ダクト	φ100 不燃材	適量	吸気・排気用	浴室照明スイッチ		1個	照明スイッチ枠付リモコンの場合
アルミテープ	幅50mm(推奨)	適量	ダクト固定用	自然給気口	TOTO品番 TYK532(φ100), TYK533(φ150)	適量	外気取入口(外壁部分は別手配)
				ランドリーパイプ	浴室寸法による	2本	2本使用をおすすめします

5

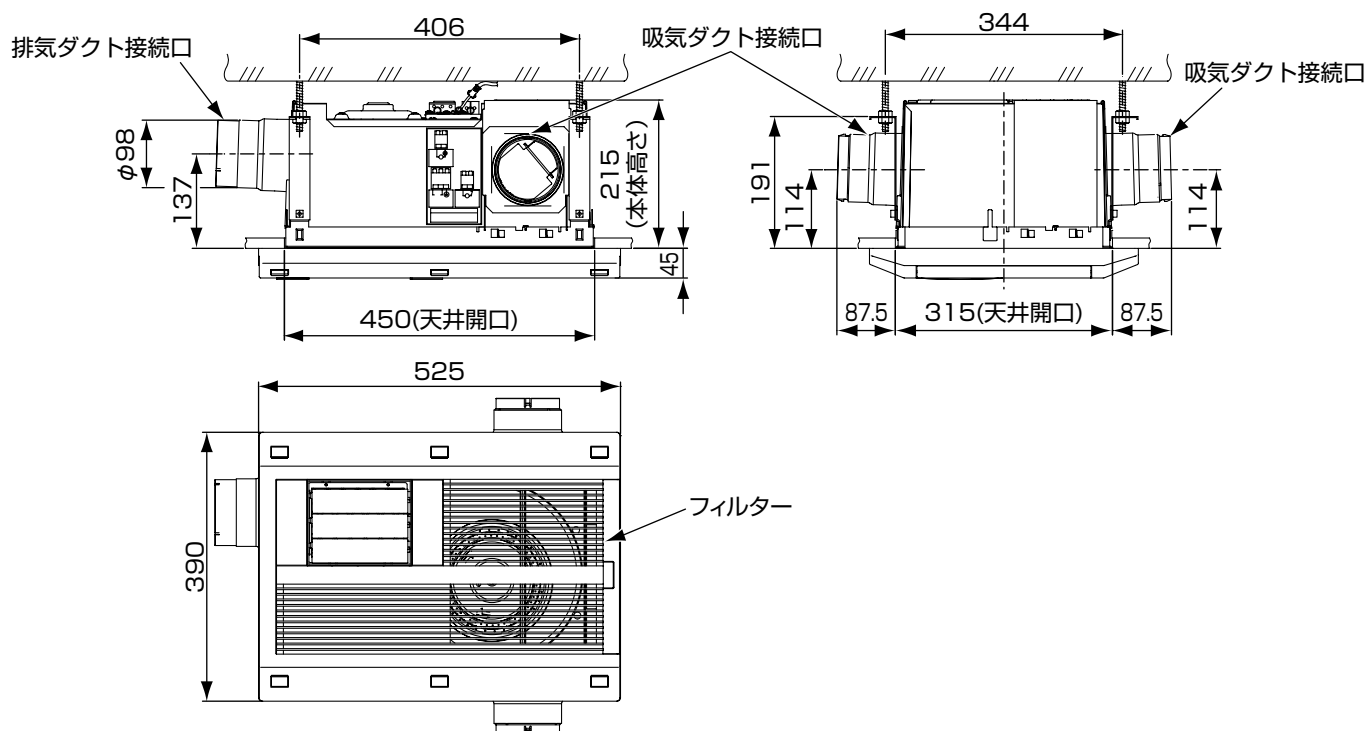
同梱部品の確認 (不足しているものがないか確認してください)

本 体	グリル	取付枠	吸込口グリル
			TYK910G/960G型…1セット TYK920G/970G型…2セット   ボード止め (4本)  取付ねじ (4本)
リモコン(クランプ・ねじ付)	リモコンコード	リモコン取付ねじ	吊下げ用ハンガー(4組)
照明スイッチ枠付リモコン (GAタイプの場合) 標準リモコン (Gタイプの場合)   (1本)  (1個)	(本体に取り付いています)  6m (1本)	 $\phi 4.1 \times 16$ (4本) 本体取付ねじ・ワッシャー  $\phi 4 \times 12$ (6本)  (6枚)	 取付ねじ アンカーボルトM10/3/8インチ用 取付枠直付用ねじ  $\phi 4 \times 40$ セルフドリリングねじ(6本) ※天吊りしない場合に使用
排気ダクト接続口	吸気ダクト接続口	ふさぎ板	取扱説明書
 逆流防止弁 排気シール	TYK910G/960G型…1個 TYK920G/970G型…2個  逆流防止弁 吸気シール	TYK910G/960G型…2個 TYK920G/970G型…1個 	 施工説明書(本書) 

6

外形寸法

本 体



ダクトの配管方向(天井裏から見た図)		天井開口寸法・下穴寸法	
※吸気方向は、3カ所から2つ(TYK910G/TYK960G型は1つ)を選択してください。残りの1つ(TYK910G/TYK960G型は2つ)はふさぎ板でふさぎます。 吸気(洗面所またはトイレ) 排気 洗い場側 吸気(洗面所またはトイレ)		450(天井開口) 330 368 315(天井開口) 取付枠取付用下穴 (天吊りしない場合は、取付枠取付用下穴を開けてください。(φ3.2 6カ所))	
		製品質量	
		TYK910G/920G型	11kg
		TYK960G/970G型	11.3kg

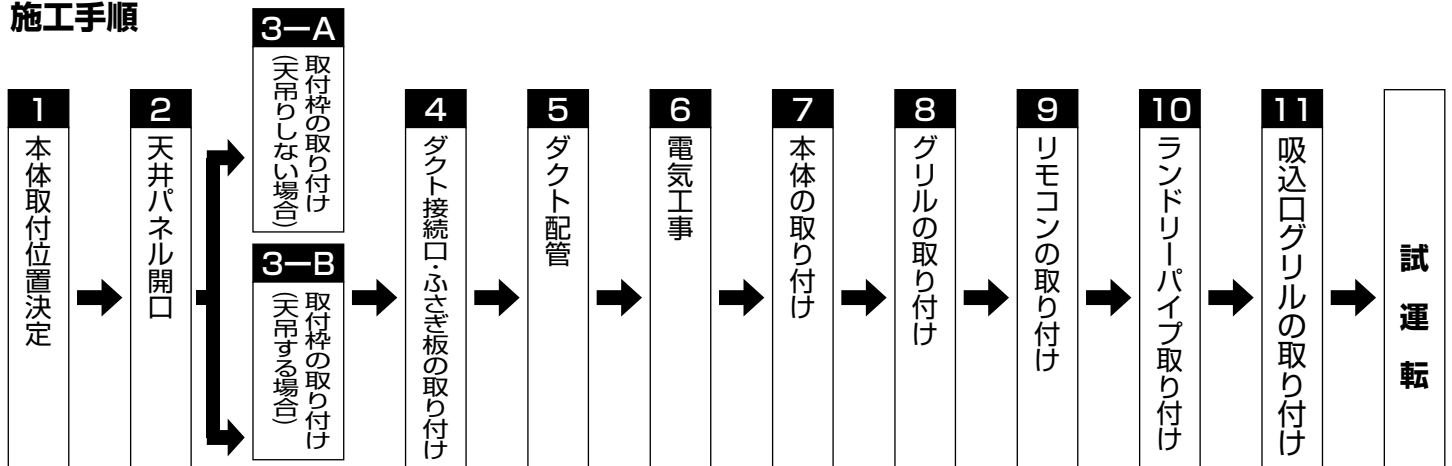
リモコン			
壁開口寸法	標準リモコン	74×93	※2個用スイッチボックス使用可
	照明スイッチ枠付きリモコン	74×144	※3個用スイッチボックス使用可
標準リモコン	124 120 7 8 脱衣場 壁仕上面 皿木ねじ 4.1×16(付属) 品番シール スイッチボックス(2連) 取付用穴(4カ所) 壁取付用穴 (4カ所) 72 83.5 92 91 75 46 ・図は100Vタイプのリモコンです。		
照明スイッチ枠付きリモコン	165 120 43 11.5 3.5 脱衣場 壁仕上面 皿木ねじ 4.1×16(付属) 品番シール 照明スイッチ 取付用穴 スイッチボックス(3連) 取付用穴(4カ所) 壁取付用穴 (4カ所) 72 83.5 92 91 75 46 46 ・図は100Vタイプのリモコンです。		

吸込口グリル	
天井開口寸法	φ100
160 134 グリル 取付穴(φ5) ダクト接続口 φ97 16 51	

お願い

- 浴室に空気取入口を設けてください。空気取入口がないと、換気・乾燥のときに性能が悪くなるおそれがあります。どうしても空気取入口が設置できない場合は、換気・乾燥のときに浴室のドアを少し開いてご使用ください。
- 本体の上に断熱材(グラスウールなど)をのせないでください。本体から放熱を妨げるため、故障のおそれがあります。
- 製品を浴室以外の場所に取り付けしないでください。故障のおそれがあります。
- 保守点検のため、点検口を必ず設けてください。
- 本体取付工事と電気工事が異なる工事区分の場合、施工説明書(本書)および関連部品を確実に電気工事業者様へお渡しください。

施工手順



1 本体取付位置決定

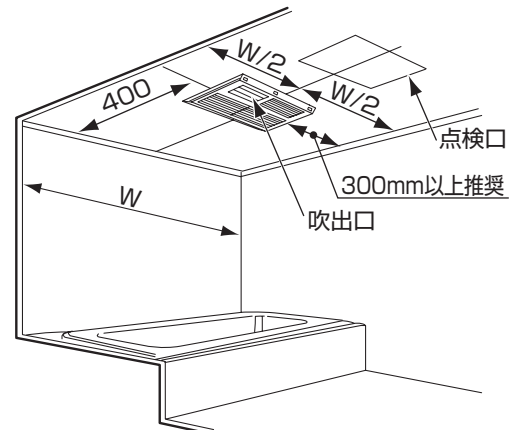
(1) 本体取り付けの推奨位置は右図のとおりです。

- ・本体は、天井に水平に、吹出口が洗い場側に向くように取り付けてください。
- ・天井裏に梁などがある場合は、本体の向きを180°反転させて設置してください。
- ・フィルターの着脱性を考慮し、グリルのフィルター側の端面と、浴室壁面との距離は300mm以上としてください。

お願い 本体180°反転取り付けの場合

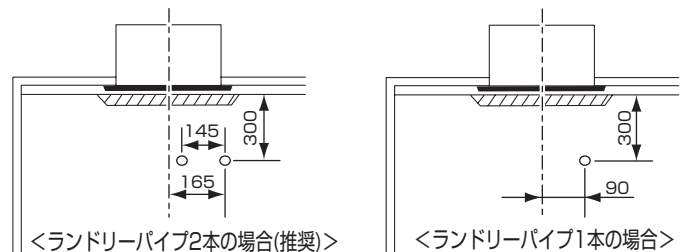
本体を180°反転して取り付ける際は、以下の点に注意してください。

- ① 取付枠の取付方向に注意してください。(🔧 3-A または 3-B 参照)
- ② 端子台固定板の向きを変更してください。(🔧 6 参照)
- ③ 試運転時に設定変更モードにて、反転取付モードに変更してください。(🔧 9-A 参照)



(2) 本体取付位置が決まったら、必ず右図の推奨位置にランドリーパイプが取り付けくことを確認してください。
照明や収納パネルが障害となる場合があります。

- ・乾燥性能を優先する場合は本体取付位置を、ランドリーパイプ位置に合わせて変更してください。
- ・ランドリーパイプ1本の場合は、2本の場合に比べて乾燥時間が長くなることがあります。



⚠ 注意

ランドリーパイプは、推奨位置より本体に近づけて設置しないでください。
ランドリーパイプが過熱し、やけどのおそれがあります。

お願い

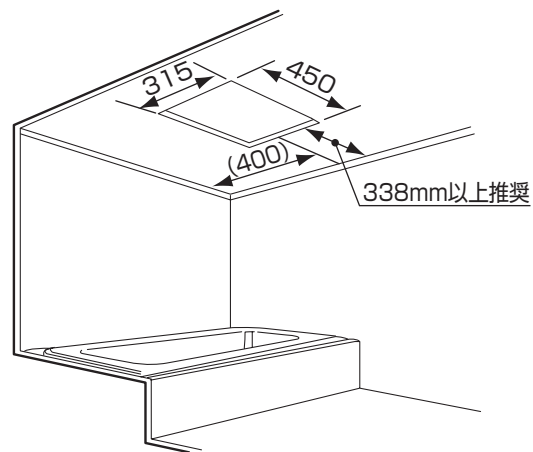
- ・当社ユニットバス設置の場合は、ユニットバス付属の施工要領書記載の所定位置に取り付けてください。
- ・ランドリーパイプは、浴室の天井が高いときや照明などがあり、取り付けが悪い場合は、推奨位置より下方向へずらして取り付けてください。ただし、乾燥時間がやや長くなる場合があります。

2 天井パネル開口

- (1) 天井パネルの推奨位置に315×450の開口を行います。
(開口誤差範囲 315 $\pm$ 5×450 $\pm$ 5)
- (2) 天井材が塩ビ鋼板の場合、小口には防錆材を塗布します。
(例: TOTO補修液: EKL967A・EKL50017)

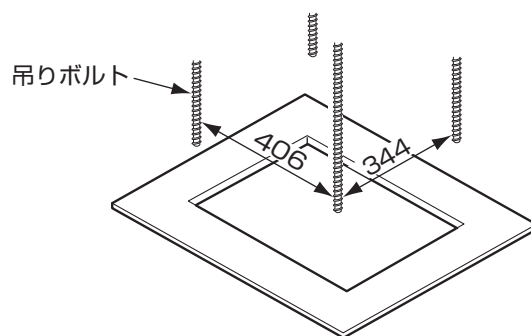
ポイント

- ・システムバスの場合、天井を組み立てる前に天井開口や下穴加工を行うと作業しやすくなります。
天井組み立て後に天井開口や下穴加工を行う場合は、浴室内へ切りくずなどが残らないようにご注意ください。
さびなどの原因となります。
- ・フィルターの着脱性を考慮し、フィルター取付側の開口端面と、浴室壁面との距離は338mm以上としてください。



3-A 取付枠の取り付け(天吊りする場合)

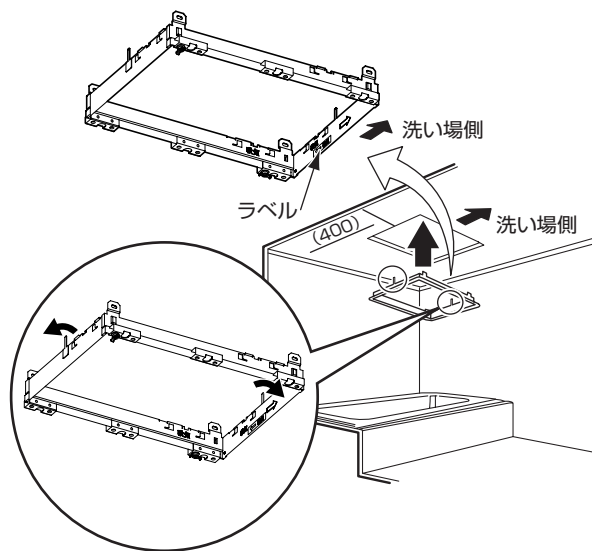
- (1) 図の位置に吊りボルト(現場手配)を取り付けてください。
 - ・吊りボルト(M10、または3/8インチ)は約100kgの荷重に耐えられるように施工してください。



- (2) 天井開口部に取付枠を取り付けます。
※取付枠に洗い場側を示すラベルがありますので、取付方向が間違っていないか確認してください。

お願い 本体180° 反転取り付けの場合

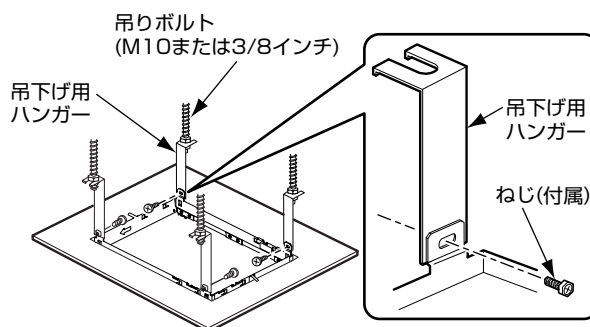
本体を180° 反転して取り付ける際は、取付枠も反転して取り付けてください。



- (3) 取付枠の爪(2カ所)を外側に曲げて天井に仮固定します。
(天吊りする場合は、取付枠を天井材にねじ止めする必要はありません)

爪を曲げて仮固定します。

- (4) 取付枠の4カ所に吊下げ用ハンガーを取り付けます。



3-A 取付枠の取り付け(天吊りする場合) のつづき

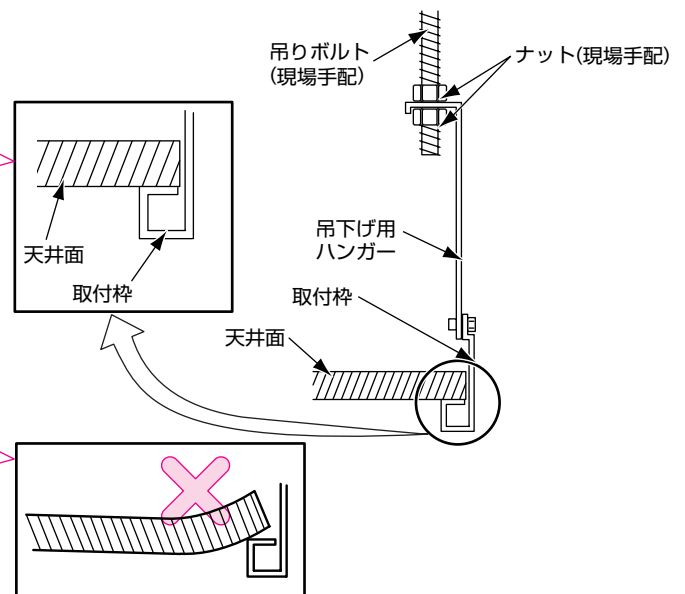
- (5) 吊りボルトに吊下げハンガーを引っかけてナット(現場手配)で固定します。

ポイント

取付枠と天井面が確実に密着するように吊り上げてください。
密着していない場合、グリルと天井面にすき間ができます。

ポイント

取付枠を持ち上げすぎないように吊り上げてください。
取付枠が持ち上がりすぎると、天井が凸状に変形しグリルと天井面にすき間ができます。

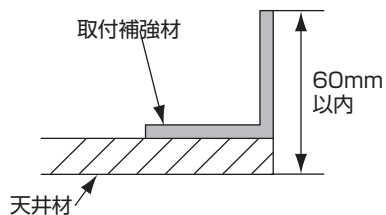


3-B 取付枠の取り付け(天吊りしない場合)

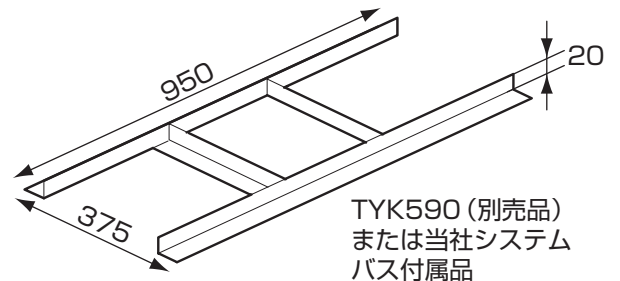
- (1) 取付補強材(推奨品：TYK590)を天井裏に取り付けます。
※TYK590を使用する場合は、付属の施工説明書をご確認ください。

お願い

- 取付補強材は天井材を含めて60mm以内にしてください。
(推奨品TYK590使用の場合は、天井厚さ40mmまでとなります。)

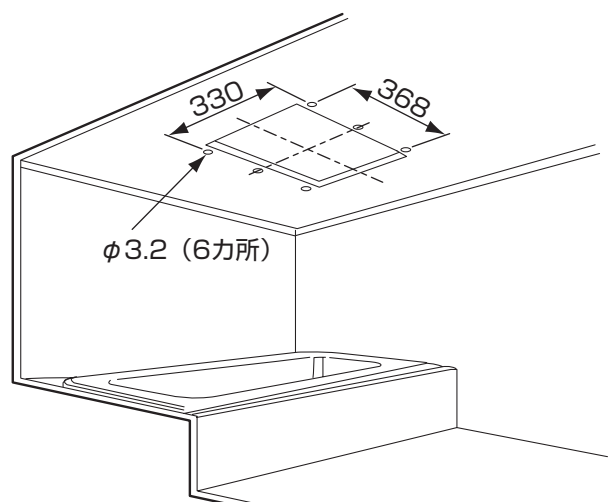
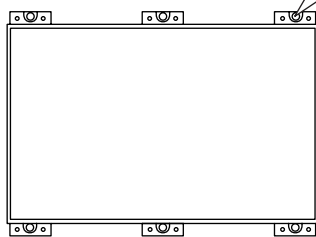


- 製品の重量に耐えられるように天井裏を十分に補強してください。



- (2) 取付枠取付用下穴を開けます。(φ3.2を6カ所)

取付枠を天井面にあて、取付枠取付用穴(6カ所)を用いて、下穴位置をけがいてください。

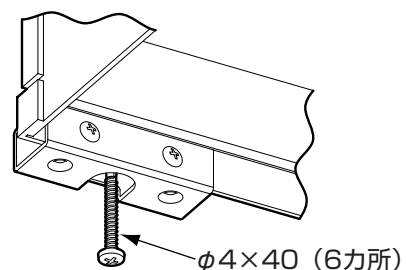


- (3) 取付枠を天井に仮固定し、付属のねじ(φ4×40 セルフドリリングねじ)で6カ所を確実に固定してください。

※取付枠に洗い場側を示すラベルがありますので、取付方向が間違っていないか確認してください。

お願い 本体180° 反転取り付けの場合

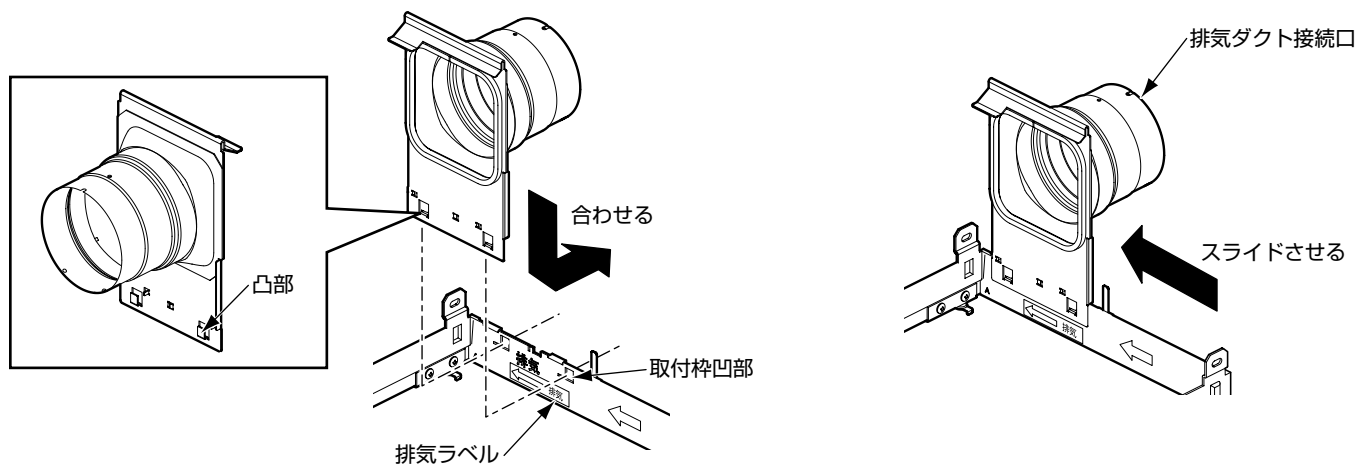
本体を180° 反転して取り付ける際は、取付枠も反転して取り付けてください。



4 ダクト接続口・ふさぎ板の取り付け

(1) 排気ダクト接続口の取り付け

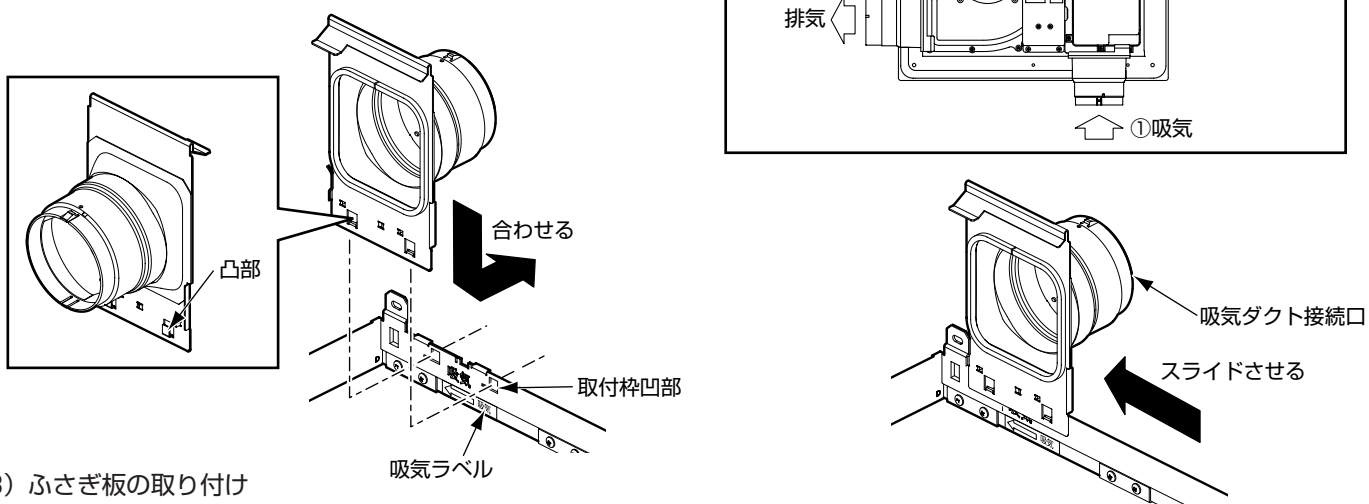
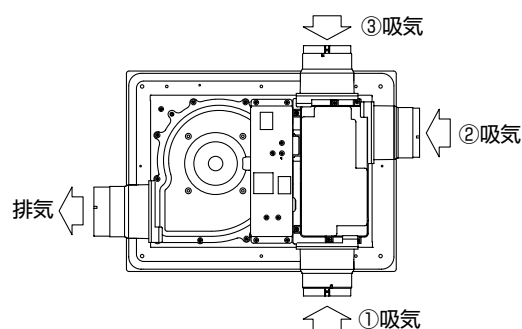
- ・排気ダクト接続口凸部と取付枠凹部を合わせます。
- ・取付枠に貼り付けている排気ラベルの表示方向へスライドさせ、排気ダクト接続口を取り付けます。



(2) 吸気ダクト接続口の取り付け

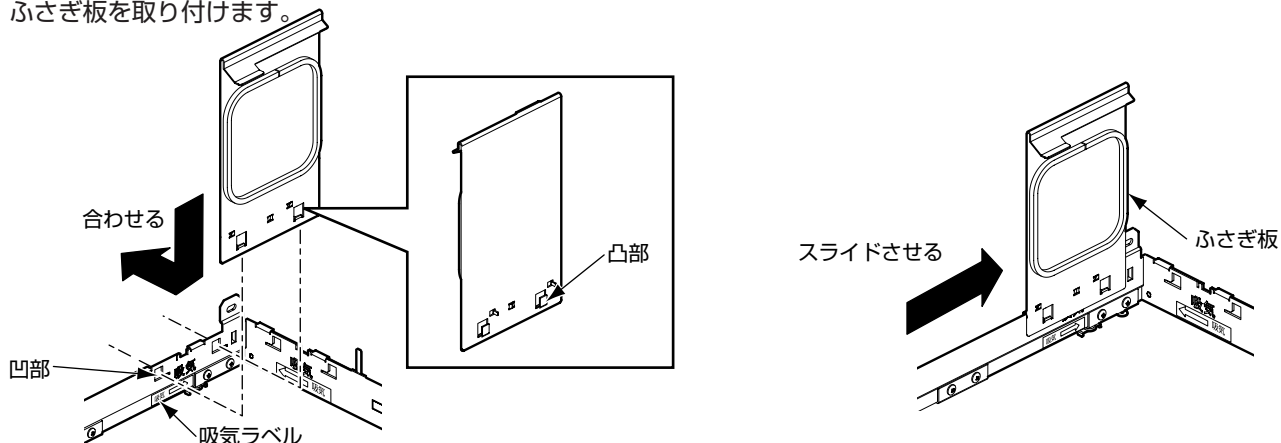
- ・吸気の方法を現場の状況に合わせて、3カ所から2カ所選びます。
(TYK910G/960G型の場合は、1カ所選びます)
- ・吸気ダクト接続口凸部と取付枠凹部を合わせます。
- ・取付枠に貼り付けている吸気ラベルの表示方向へスライドさせ、吸気ダクト接続口を取り付けます。

吸気ダクト接続口は下記の①、②、③、から配管しやすい2方向を選択してください。
(TYK910G/960G型の場合は1方向)



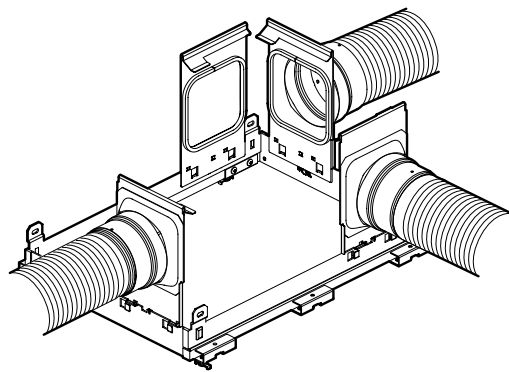
(3) ふさぎ板の取り付け

- ・吸気ダクト接続口を取り付けていない場所に、ふさぎ板を取り付けます。
(TYK910G/960G型は2個、TYK920G/TYK970G型は1個)
- ・ふさぎ板凸部と取付枠凹部を合わせます。
- ・取付枠に貼り付けている吸気ラベルの表示方向へスライドさせ、ふさぎ板を取り付けます。



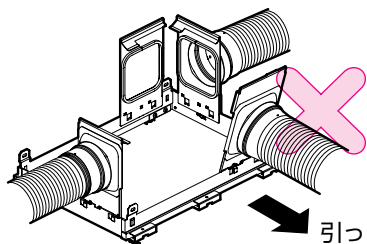
5 ダクト配管

- ・アルミフレキ管などのダクトを接続し、アルミテープで風漏れのないようにします。(呼び径φ100)
- ・排気、洗面所吸気、トイレ吸気の配管を間違わないように配管してください。
- ・排気ダクト接続口は結露水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。
- ・排気ダクト接続口接続長さは、目安として直管20m相当以内にしてください。

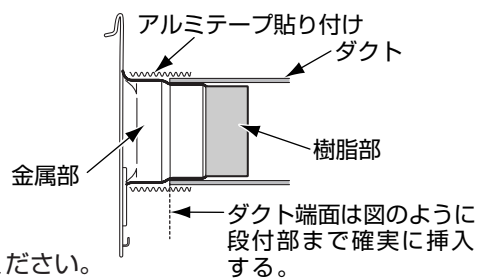


お願い

- ・配管時にダクトに力がかからないようにしてください。
- ・ダクトは下図のようにダクト接続口に確実に挿入し、アルミテープにて確実に固定してください。



- ・配管は機器本体に力がかからないように天井裏のスラブより吊るしてください。
- ・次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。



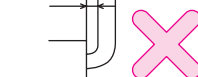
・極端な曲げ
(90°以上曲げないで)
ください。



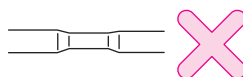
・多数の曲げ
(曲げ数が多くなれば)
風量が低下します。



・排気口のすぐそば
での曲げ
200mm以下



・接続ダクト径を極端に
小さくする(しぼり)



6 電気工事

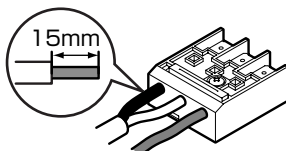
警告

- 電源コード(VVFケーブル)は、先端をそれぞれ端子台に確実に差し込んでください。差し込みが不十分だと火災のおそれがあります。また、端子台内部の発熱により端子台が故障し「E16」エラーとなる場合があります。その場合は端子台コネクター(青色)の導通を確認し、断線していれば端子台の交換が必要になります。
- 電源コードはφ2mmの単線(VVFケーブル)を使用してください。より線は使用しないでください。

重要 電源端子台への接続について

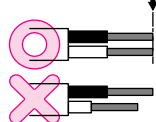
- ・各々の芯線がまっすぐ15mm出ている状態に加工のうえで、端子穴に芯線を“グツ”と奥まで確実に差し込んでください。

確実に差し込んで
ください。

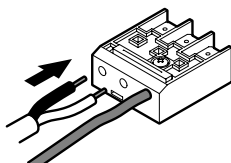


- ・電源コードの芯線2本が均一になるように加工してください。(端子台の手前で均一になるように加工してください。)

端面を揃える



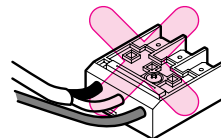
- ・端子台に芯線を奥までまっすぐ挿入してください。



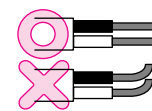
ポイント

接続後、電源コードの芯線が左図のように差し込まれていることを再度、目視で確認してください。

- ・端子台の近くで大きく曲げると先端が十分に差し込まれない場合があります。



先端は絶対に
曲げない



お願い

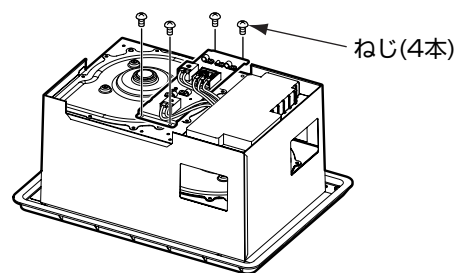
- TYK910G/920G型の電源は単相100Vを接続してください。200Vを印加すると製品(モーター・基板)が故障します。
- TYK960G/970G型の電源は単相200Vを接続してください。100Vを印加すると「E03」などのエラーが表示されます。

6 電気工事 のつづき

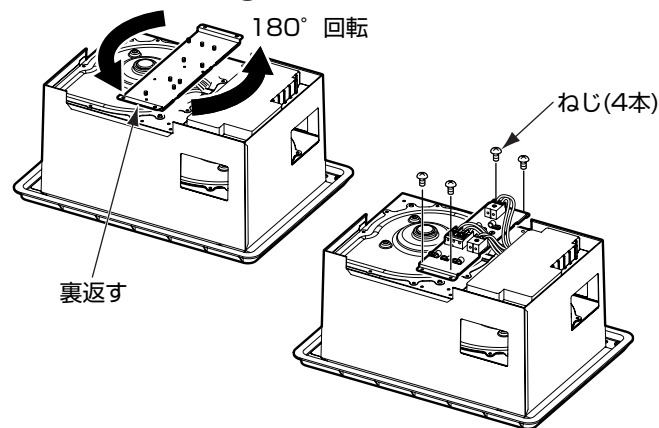
お願い 本体180° 反転取り付けの場合

電気工事を行う前に、端子台の向きを変更させる必要があります。
以下の要領にて行ってください。

(1) 端子台固定板を固定しているねじ(4本)を外します。



(2) 端子台固定板を180° 回転させ、再度取り付け直します。
なお、端子台固定板は裏返して回転させると回転しやすくなります。



お願い

端子台固定板を回転させる際は、無理にコードを引っ張ることがないように注意してください。
コードが断線するおそれがあります。

(1) 電源線およびアース線の接続

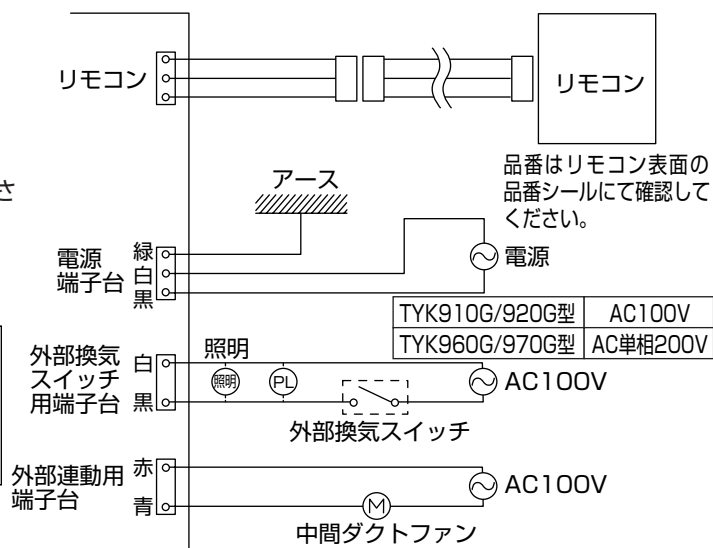
- ・専用の分岐ブレーカー(20A)を取り付けてください。
また分電盤には漏電遮断器を設置してください。
(三乾王専用の漏電遮断器を取り付ける際には、感度電流15mA、動作時間0.1秒のものを使用してください。)
- ・1次側電線(VVFケーブルφ2mm)を電源端子台に接続してください。
- ・接続後、電線をクランプにて固定してください。
- ・アースはD種設置工事を行ってください。

お願い

当社システムバスオプション部品としてご購入の場合は、電源線およびアース線が1.5m付属されています。
本体を天井に取り付け後、システムバス天井点検口付近にリモコンコードと合わせ、のばしておいてください。

(2) 外部連動用端子台への接続

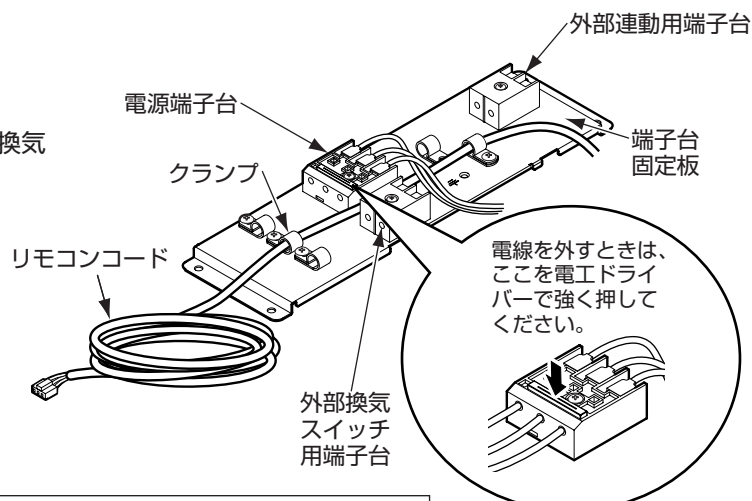
- ・他の換気設備などと連動させる場合は、他の換気設備からの電線を接続します。
- ・電線はVVFφ1.6またはφ2mmを使用してください。
- ・接続後、電線をクランプにて固定してください。



(3) 外部換気スイッチ用端子台の接続

外部換気スイッチ(現場手配)を接続することにより、本製品の換気ファンを外部換気スイッチにより運転させることができます。

- ・電線はVVFφ1.6またはφ2mmを使用してください。
- ・接続後、電線をクランプにて固定してください。



各電線は点検が行えるように、本体取付位置より3mほどゆとりを持たせて配線してください。

6 電気工事 のつづき

お願い 外部換気スイッチ(現場手配)の接続について

- パイロットランプは必ず電圧検知式を使用してください。
(例：松下電工製WN3031RK、東芝ライテック製DG4111R)
- 外部換気スイッチは、漏れ電流5mA以下のものを使用してください。
また、外部換気スイッチ用端子台にはAC21mA(負荷抵抗)が流れますので、これに適合するスイッチを選定してください。
- 外部換気スイッチの推奨スイッチは右表を参照してください。
- オンピカタイプの外部換気スイッチでLEDランプが点灯しない場合は、前の結線図を参考に照明などの負荷を入れてください。
- 本製品には遅れタイマー機能がついています。
設定方法については **9**—**6** を参照してください。

外部換気スイッチの配線を外部連動用端子台につなげないでください。誤った接続をすると基板が故障します。

推奨スイッチ

2005年4月現在

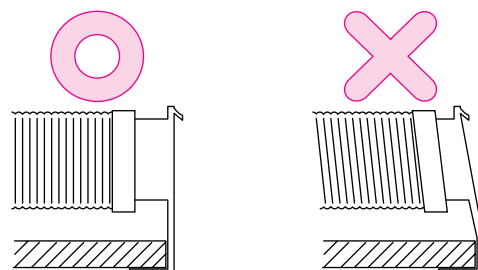
メーカー名	品番	特長・名称
松下電工製	WN5001H	片切
	WT5051	ワイド21 片切・ほたる
	WT5052	ワイド21 3路・ほたる
	WT50412	ワイド21 埋め込みパイロット・ほたる 片切・定格0.5A(LED)
東芝ライテック製	NDG1111	片切
	NDG1321	片切・オフピカ
	NDG1451	WIDE3 2線式片切オンピカ 定格0.5A(LED)
神保電器製	WJ-1	J-WIDE 片切
	WJ-3	J-WIDE 3路
	WJ-1CL	J-WIDE 片切チェック用 定格0.5A(LED)

7 本体の取り付け

- (1) 排気ダクト接続口、吸気ダクト接続口が外側へたおれていないか確認してください。

お願い

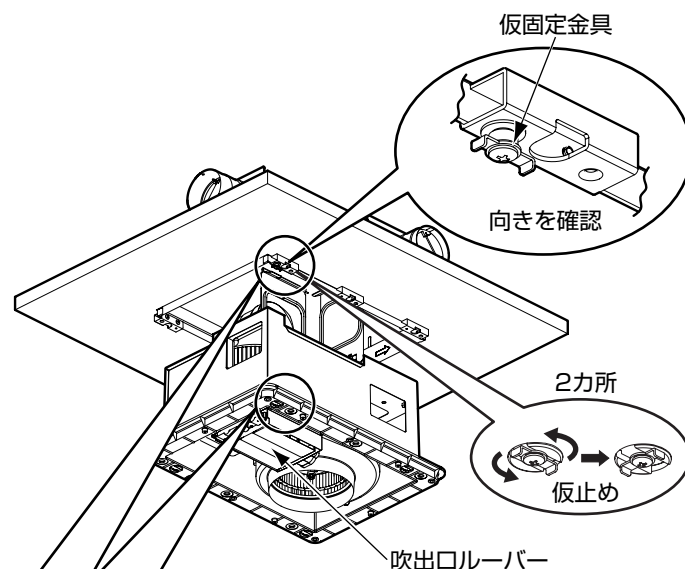
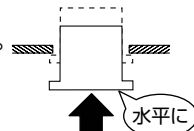
排気ダクト接続口、吸気ダクト接続口は、たおれないように注意してください。特に外側にたおれている場合は、本体との接続が不完全になることがあります。



- (2) 本体取り付け前に取付枠の仮固定金具の向きを右図のように合わせて、本体を挿入し仮固定金具を回して仮止めしてください。

お願い

- 本体挿入の際には、吹出口ルーバー部を押し上げないようにご注意ください。
ルーバーが破損するおそれがあります。
- 本体挿入の際は、本体を天井面になるべく水平に行ってください。
- 仮固定金具の向きがそろっていることを必ず確認してください。向きがそろっていないと本体が完全に入りません。本体を無理に入れようとすると、仮固定金具が変形することがあります。

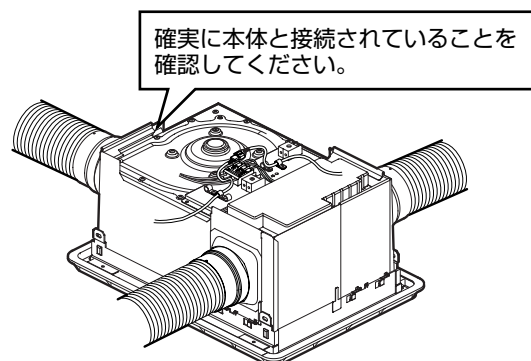


取付枠の仮固定金具の位置と、本体の仮固定用穴位置を合わせて挿入してください。

警告

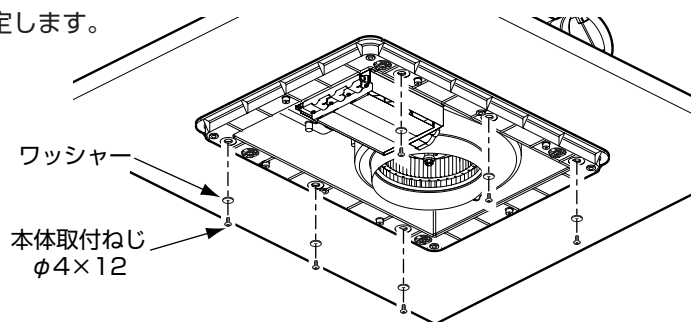
仮止めは一時的な固定です。
このままの状態で放置しないでください。落下するおそれがあります。
ねじ止めて確実に取り付けてください。

- (3) ダクト接続口と本体が確実に接続されていることを点検口から見て確認してください。



7 本体の取り付け のつづき

(4) 本体を付属のワッシャー、ねじ($\phi 4 \times 12$, 各6個)で固定します。



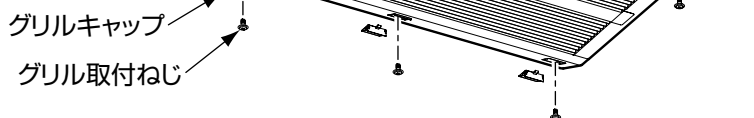
8 グリルの取り付け

(1) グリルキャップを取り外し、グリル取付部6カ所をねじ止めて固定します。

お願い

- ・グリルの取り付けは必ず手締めで行ってください。
- ・電動ドライバーなどで強く締め付けるとグリルが割れるおそれがあります。

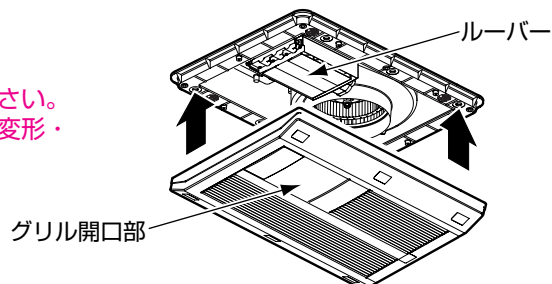
(2) グリルキャップを取り付けます。(6カ所)



! 注意

重要

グリルには方向性があります。
必ずグリル開口部をルーバー位置に合わせて取り付けてください。
逆に取付けた場合、温風が内部にこもり、天井やグリルに変形・変色・割れが発生するおそれがあります。

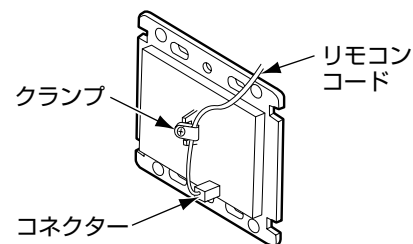


9 リモコンの取り付け

(1) リモコンコードを本体からリモコン取付位置まで配線します。

(2) 壁に開口を行います。

- ・標準タイプリモコンの場合：開口サイズ・・・74×93
※2個用スイッチボックス(JIS C 8336)も利用できます。
ただし、スイッチボックスとリモコンケースとの取付用ねじは現場手配してください。
- ・照明スイッチ枠付リモコンの場合：開口サイズ・・・74×144
※3個用スイッチボックス(JIS C 8336)も利用できます。
ただし、スイッチボックスとリモコンケースとの取付用ねじは現場手配してください。



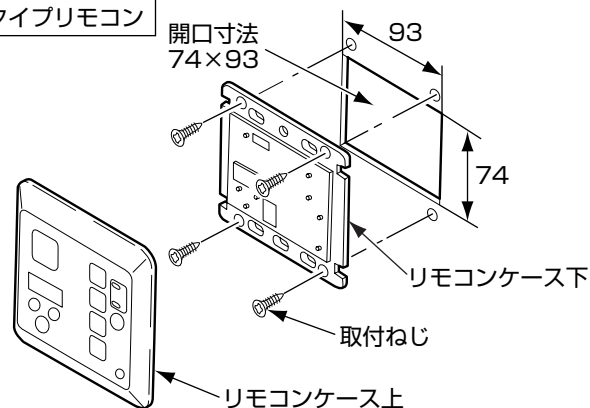
(3) リモコンケースの上下を取り外します。

(4) リモコンケース下のコネクターにリモコンコードを接続し、リモコンに付属のクランプでリモコンコードを固定します。

(5) リモコンケース下を取付ねじ(付属)で壁に固定します。

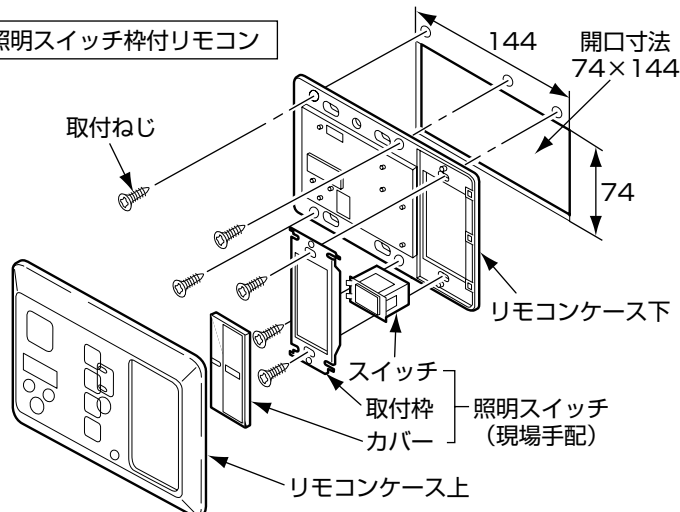
(6) リモコンケース上を「カチッ」と音がするまでリモコンケース下に取り付けます。

標準タイプリモコン



9 リモコンの取り付け のつづき

照明スイッチ枠付リモコン

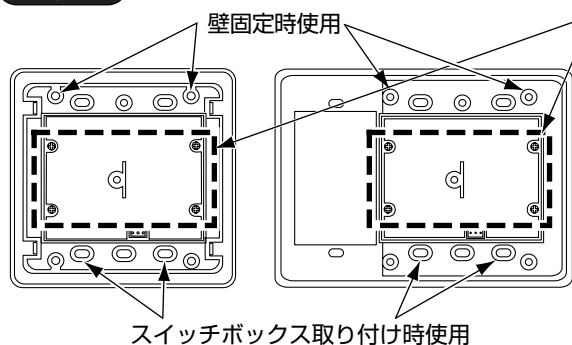


照明スイッチ(現場手配)は下記のスイッチをおすすめします。他メーカーのスイッチは取り付けないことがあります。

メーカー名	品番・名称
松下電工製	コスモシリーズワイド21 例) WT5051(埋込ほたるスイッチ)+ WT3700(取付枠)+WT3031W(ハンドル)
東芝ライテック製	WIDEシリーズ 例) WDC32014 (オフピカスイッチ+ スイッチカバー+ワンタッチサポート組品)

※ワイドタイプ以外のスイッチの場合は、松下電工製 WTF3710(取付枠)+WTF3111W(化粧カバー)+WN5051(スイッチ)をご使用ください。

お願い



- ・リモコン裏に付いているねじ(4本)は外さないでください。
- ・スイッチボックスに取り付ける場合は、ねじを締めすぎないようにしてください。
リモコンケース下が変形してリモコンケース上がうまく入らなくなるおそれがあります。
- ・リモコンケース上を確実に取り付けてください。
作動不良の原因になります。
- ・リモコンは、浴室には取り付けないでください。
故障の原因になります。

10 ランドリーパイプの取り付け

- (1) 「1 本体取付位置決定」のランドリーパイプ推奨位置にランドリーパイプを取り付けてください。
- (2) ランドリーパイプ真下の壁面に、ランドリーパイプに付属の注意ラベルを張り付けてください。
※詳しくは、ランドリーパイプ付属の説明書をお読みください。

11 吸込口グリルの取り付け

■取り付けには、天井取り付け・壁取り付けの2通りあります。
ここでは、天井取り付けを示します。壁取り付けの場合も、同様に行ってください。

- (1) ダクト(不燃材)を天井材の吸込口まで配管します。
- (2) 天井材を張り、取付位置に右図を参照して天井材に開口部と取付用下穴を開けます。
- (3) グリルの両側の手掛部を持ってグリルとダクト接続部を外します。
- (4) ダクト接続部をダクトにはめ込み天井材に付属の木ねじ(4本)で締め付けます。

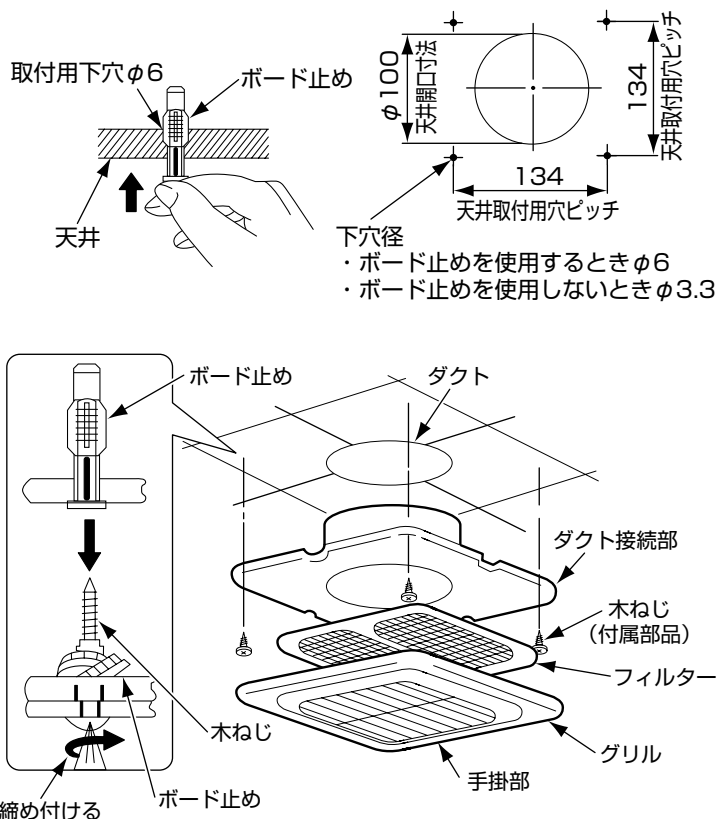
天井板の強度が弱い場合、ボード止めを使用してください。

ボード止めに付属の木ねじ4本で締め付けると図のようにボード止めが変形して確実に取り付けられます。

- (5) 取り外したグリルをグリルの手掛部とダクト接続部の切り欠き部を合わせて「カチッ」とはめ込みます。

お願い

- ・吸込口グリルは同梱のものもしくはフィルター内蔵のものを必ず使用してください。
フィルターがない吸込口グリルを使用した場合、本体内部にほこりが詰まり、故障のおそれがあります。



施工が終わりましたら、再度結線や取付方向などが間違っていないか確認して「取扱説明書」の「使いかた」を参照し、正常な運転ができるか、また本体の取り付けが確実で振動・異常音がないか確認してください。

※電源を投入すると、最初リモコンの表示部がー：ー点滅し、ルーバーが動作したあと、約90秒間ファンが動作します。
これは初期動作であり故障ではありません。

⚠️ 注意

運転中、ファンに触れたり、物を差し込まないでください。回転で傷害のおそれがあります。

🙏 お願い

試運転の際はグリルを養生シートなどで覆わないでください。熱がこもり変形などの原因になります。

1 動作の確認

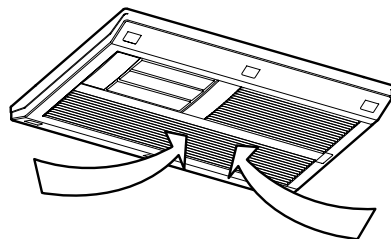
(1) 換気



を押して本体グリルより換気していることを確認してください。



を押して停止してください。



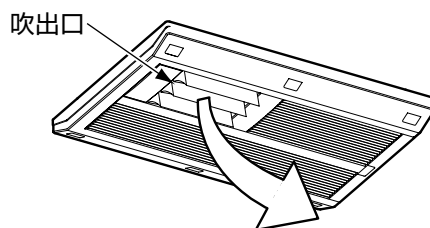
(2) 乾燥・暖房



または  を押して吹出口から温風が出ていることを確認してください。



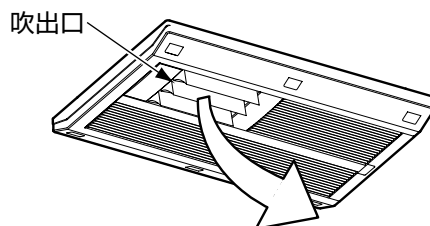
を押して停止してください。



(3) 涼風



を押して吹出口から風が出ていることを確認してください。



(4) ルーバー動作

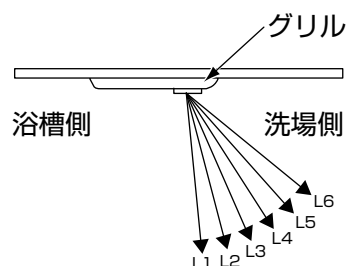
涼風運転中に  を押してください。表示部が **L3** といった表示となります。

⊖ または ⊕ を押して、表示部の表示が「L1」⇄「L2」⇄「L3」⇄「L4」⇄「L5」⇄「L6」⇄「LA」と変わることを確認してください。

表示部の表示とルーバーの向きは右図のようにL1→L6になるにつれて、洗い場側へ向くようになっていくことを確認してください。

🙏 お願い

ルーバーの表示と動作が異なる場合は **9-A** 本体反転取付切替要領に従って、正しいモードに切り替えてください。



最後に  を押して涼風運転を停止してください。

(5) 常時換気



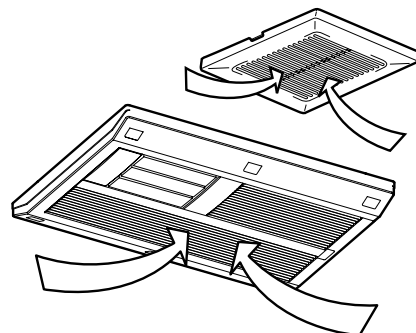
常時換気状態になっていることを確認して洗面所(またはトイレ)の

吸込口グリルから換気していることを確認してください。

(6) 外部換気スイッチ(現場手配)を付けている場合は外部換気スイッチの操作で換気されることを確認してください。

このときリモコンは換気 強が点滅となります。

※外部換気スイッチのON操作後、約10秒後に換気を始めます。



(7) 他の換気設備などと連動接続している場合

三乾王のモードにより他の換気設備の動作を確認してください。

常時換気が設定されている場合は常に連動しています。

2 試運転時のチェックポイント

試運転時に不具合が生じたらチェックポイントを再確認してください。

動作不具合	チェックポイント				
グリルと天井面にすき間ができる	・取付枠と天井面にすき間が開いていませんか？ →確実に密着させてください。(🔧 3-A 参照) ・取付枠が持ち上がりすぎて天井が変形していませんか？ →吊り下げ用のナットを調整して、天井の変形を修正してください。(🔧 3-A 参照)				
電源が入らない	本体に電源を確実に接続していますか？ <table border="1"><tr><td>TYK910G/TYK920G型</td><td>AC100V</td></tr><tr><td>TYK960G/TYK970G型</td><td>AC単相200V</td></tr></table> →確実に接続してください。	TYK910G/TYK920G型	AC100V	TYK960G/TYK970G型	AC単相200V
	TYK910G/TYK920G型	AC100V			
	TYK960G/TYK970G型	AC単相200V			
	リモコンコードとリモコンを確実に接続していますか？ →確実に接続してください。				
リモコンコードを施工中に切断していませんか？ →誤って切断した場合は、部品交換してください。					
	分電盤のブレーカーに電源線を確実に接続していますか？ →確実に接続してください。				
異常音ができる	本体をしっかりと天井に取り付けていますか？ →しっかりと固定してください。				
	ファンに段ボールなどが詰まっていますか？ →詰まっていたら、取り除いてください。				
吸込口グリルから吸気されない。もしくは風が出てくる。排気口から風が出てこない。	吸排気ダクトは確実に接続されていますか？ →接続されていない場合は、接続し直してください。				
リモコンのボタンを押しても受け付けない	リモコンケース(上)をリモコンケース(下)にしっかりと取り付けていますか？ →確実に取り付けてください。				
リモコンにエラー表示ができる	・配線は確実に接続していますか？ →確実に接続してください。また、再度電源をリセットしてみてください。 それでもなおらない場合は運転を停止し、電源ブレーカーを切って修理を依頼してください。 ・エラーが表示される場合は「6 電気工事」の内容を確認してください。				
リモコンに「Err」の点滅表示ができる	本体に正しく対応したリモコンが取り付けられていますか？ →リモコン表面の品番シールを確認し、シールの品番が本体品番と異なっていたら、正しいリモコンを取り付けてください。				

・暖房や乾燥の運転直後はすぐには温風は出ません。徐々に温度が上がっていきます。
・運転停止後は機器の保護のため約20秒間運転が継続する場合があります。

9 設定変更モード

A 本体反転取付切替要領

お願い 本体180°反転取り付けの場合

本体の向きを180°反転させて設置した場合は、必ず「反転モード」へ切り替えてください。
切り替えないと、ルーバーの向きが適切にならないため、暖房性能・乾燥性能が悪くなります。

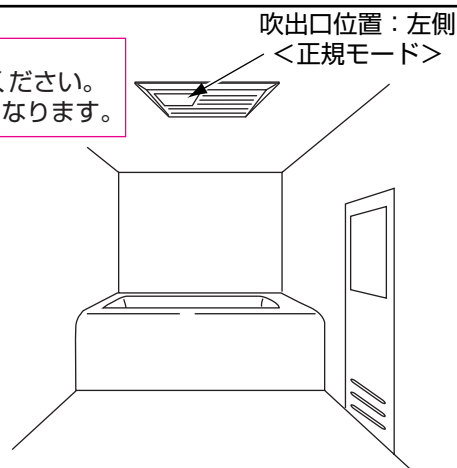
※待機状態(電源ON)にて作業を行います。

- (1) ⊕ と (風向) を3秒間押し続ける。
- (2) 表示部が **OFF** の点滅表示される。
- (3) ⊕ または ⊖ を押して変更する。

OFF …正規モード(工場出荷時)：吹出口位置が洗い場から見て左側

ON …反転モード：吹出口位置が洗い場から見て右側

- (4) (予約確定) を押し設定変更を確定させる。



B 常時換気風量変更

(1) 変更可能な内容

太字は工場出荷時の設定です。

常時換気風量(m³/h)	TYK910G/960G型	40	50	80	105						
	TYK920G/970G型		50	80	105	125	150	180	200	220	

(2) 設定変更のしかた

① 設定変更モードにします。

⊖ を押して、そのまま  を約3秒間押し続けます。
表示部が **92F** といった表示になります。

・途中で設定変更を中止する場合は  を押してください。

② 常時換気風量設定変更モードにします。

 を押して常時換気風量設定変更モードにします。
表示部が **110** といった表示になります。

(設定風量と表示について)

常時換気風量(m³/h)	40	50	80	105	125
表示部	1:4	1:5	1:8	1:10	1:12
常時換気風量(m³/h)	150	180	200	220	
表示部	1:15	1:18	1:20	1:22	

③ 設定を変更します。

⊖ または ⊕ を押して、設定を変更します。

④ 設定を確定します。

 を押し、設定を確定させます。

C トイレ遅れタイマー設定変更方法

本製品は外部換気スイッチ「OFF」後、しばらく換気運転を継続する「トイレ遅れタイマー」機能を備えており、必要に応じてトイレ遅れタイマーの設定時間を変更することができます。

(1) 変更可能な内容

太字は工場出荷時の設定です。

トイレ遅れタイマー	0	1	2	3	4	5	10	20	30	40	50	60
-----------	----------	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----

(2) 設定変更のしかた

① 設定変更モードにします。

⊖ を押して、そのまま  を約3秒間押し続けます。
表示部が **92F** といった表示になります。

・途中で設定変更を中止する場合は  を押してください。

② トイレ遅れタイマー設定変更モードにします。

 を押してトイレ遅れタイマー設定変更モードにします。
表示部が **3:0** という表示になります。
これは、工場出荷時の設定値である**0**分を意味します。

③ 設定を変更します。

⊖ または ⊕ を押して、設定を変更します。

④ 設定を確定します。

 を押し、設定を確定させます。

ポイント

- ・遅れ消灯機能がついている外部換気スイッチを使用した場合、トイレ換気運転の遅れ時間は外部換気スイッチで設定された時間と三乾王で設定された時間の合計となります。
- ・三乾王にて遅れタイマー設定をしている場合、パイロットランプが換気停止を表示している場合でも、トイレ換気は継続して行います。

試運転(設定変更)のあとは

■工事店様へ

施工後は、同梱の「取扱説明書(保証書付き)」をお客様にお渡ししてから、製品の使いかたを説明してください。
取扱説明書に付属の保証書には、店名およびお取付日を必ず記入してください。

10

修理を依頼されるときは

東陶メンテナンス(株)にご連絡ください。

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

受付(年中無休)

受付時間: 関東, 甲信越地区 8:00~20:00

: 上記以外の地区 9:00~20:00

訪問修理(年中無休)

営業時間: 9:00~18:00